

**令和2年度**  
**第50回九州ブロック社会教育研究大会沖縄大会**  
第62回 沖縄県社会教育研究大会  
**開催要項(修正)**

**1 趣 旨**

我が国では、人口減少の更なる進行や人生100年時代と言われる長寿化を迎える一方で、新たな社会の姿として超スマート社会（Society5.0）の実現が提唱されるなど、更に大きな社会変化が訪れようとしている。こうした状況の中、一人一人がより豊かな人生を送り、安心して暮らすことのできる社会をつくるためには、まず自分の住む地域の歴史・文化や課題を知り、地域への愛着と当事者意識を高めること、そして望ましい地域の将来像に向けて主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成が必要である。

創造性を遺憾なく発揮し、実践力を兼ね備えた人物を沖縄では「ジンプナー」という。我々一人一人が「ジンプナー」として成長しながら、更に次世代の「ジンプナー」を育て、これまで培ってきた知識やノウハウを活かしながら多様な主体と連携・協働を図ることで地域の課題を解決していくこと。新たな地域づくりを推進するためにはこうした視点が必要である。

本沖縄大会では、人づくりが地域づくりへ、そして地域づくりが人づくりにつながるというこれまでの大会の成果を踏まえ、九州各県・各地域の社会教育委員及び社会教育関係者の取組の成果や課題をもとに研究協議を行い、今後の活動の充実及び社会教育の振興に資する。

**2 研究テーマ**

地域への愛着を深め、新たな地域づくりをめざす社会教育  
～ジンプナーは地域をつくり 地域がジンプナーをつくる～

**3 主 催**

九州ブロック社会教育委員連絡協議会 一般社団法人全国社会教育委員連合  
沖縄県社会教育委員連絡協議会 沖縄県教育委員会

**4 共 催**

読谷村教育委員会 嘉手納町教育委員会

**5 後 援**

福岡県教育委員会 長崎県教育委員会 大分県教育委員会 佐賀県教育委員会 熊本県教育委員会  
宮崎県教育委員会 鹿児島県教育委員会 読谷村 嘉手納町  
沖縄県市長会 沖縄県町村会 沖縄県市町村教育委員会連合会  
沖縄県社会教育主事協会 沖縄県公民館連絡協議会  
沖縄県社会教育指導員連絡協議会 沖縄県小学校長会  
沖縄県中学校長会 沖縄県高等学校長協会 沖縄県特別支援学校長会 (一社)沖縄県PTA連合会  
沖縄県高等学校PTA連合会 沖縄県特別支援学校PTA協議会  
(一社)沖縄県子ども会育成連絡協議会 (一財)日本ボーイスカウト沖縄県連盟  
(一社)ガールスカウト沖縄県連盟 沖縄県ユネスコ協会 沖縄県青年団協議会  
(一社)沖縄県婦人連合会 (公社)沖縄県青少年育成県民会議

**6 期 日** 令和2年11月20日(金) 午前9時30分～正午(受付:午前9時より)  
※全体会のみ開催

**7 会 場** 読谷村文化センター(鳳ホール)

**8 開催方法**

- (1) 分科会・・・沖縄県教育庁生涯学習振興課 生涯学習情報提供システム「まなびネットおきなわ」にてオンデマンド配信
- (2) 全体会・・・①会場の新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインにもとづき、会場にて縮小開催(沖縄県内参加者対象)  
②「まなびネットおきなわ」にてオンデマンド配信  
③ライブ配信は検討中

**9 参加者**

九州各県・各市町村社会教育委員及び各市町村教育委員 生涯学習・社会教育関係職員  
学校教育関係職員 公民館関係者 社会教育関係団体関係者他

10 日 程

|               |      |          |                  |       |                  |       |
|---------------|------|----------|------------------|-------|------------------|-------|
| 11月20日<br>(金) | 9:00 | 9:30     | 9:50             | 10:20 | 11:50            | 12:00 |
|               | 全体登壇 | アフタフクシヨシ | 開<br>会<br>行<br>事 | 記念講演  | 閉<br>会<br>行<br>事 |       |

11 分科会 (オンデマンド配信)

|       | 分科会テーマ      | 討議の視点                          | 事例発表者  | 助言者  |
|-------|-------------|--------------------------------|--|--|
| 第1分科会 | 家庭教育支援      | ①社会の変化に対応した家庭教育支援              | 《佐賀県》<br>地域の力で支える家庭教育・子育て支援<br>～学ぶ・育てる・つながる～<br>佐賀市社会教育委員・佐賀市立西与賀公民館長<br>木原 久美子                      | 〔佐賀県〕<br>佐賀県民環境部まなび<br>課生涯学習・体験担当<br>須貝 遊            |
|       |             | ②家庭教育支援を通じた地域の教育力向上            | 《宮崎県》<br>地域ぐるみの家庭教育支援の在り方<br>～都農町家庭教育サポート推進事業をとおして～<br>都農町教育委員会・家庭教育係長<br>山之口 忍                      |  |
| 第2分科会 | 青少年の健全育成    | ①地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成         | 《大分県》<br>大好きな子どもたちと共に歩いてきて<br>思うこと<br>公益財団法人日本ボーイスカウト大分県連盟理事<br>内田 日出男                               | 〔大分県〕<br>別府大学文学部<br>人間関係学科教授<br>長尾 秀吉                |
|       |             | ②Society5.0における青少年の健全育成        | 《沖縄県》<br>地域づくりと学びの連携 白保公民館学級<br>石垣市白保青年会<br>宮良 央   |  |
| 第3分科会 | 学校との協働体制づくり | ①ジブンナー育成に向けた地域と学校の連携・協働体制      | 《福岡県》<br>「地域で生き抜く力を育む<br>子ども教室の在り方」<br>水巻町立伊左座小学校・学校運営協議会ディレクター<br>丸山 正直                             | 〔鹿児島県〕<br>鹿児島県<br>社会教育委員の会議委員<br>志学館大学 名誉教授<br>岩橋 恵子 |
|       |             | ②地域学校協働活動推進員の確保・育成と求められる役割     | 《鹿児島県》<br>学校運営協議会設置による<br>地域と学校の連携・協働<br>～キャッチフレーズ「教育効果を100%を、110%へ」～<br>いちき串木野市立・生冠中学校 校長<br>池之上 良和 |  |
| 第4分科会 | 社会教育委員の役割   | ①地域におけるファシリテーターとしての社会教育委員の役割   | 《長崎県》<br>「は・あ・と・ふ・る運動」への<br>取組について<br>長崎県西海市社会教育委員の会 委員長<br>佐々木 義信                                   | 〔熊本県〕<br>熊本県教育庁市町村<br>教育局社会教育課<br>主幹<br>北岡 誉久        |
|       |             | ②住民の主体的参画による地域づくりにおける社会教育委員の役割 | 《熊本県》<br>地域づくりを考え提言する<br>社会教育委員の会<br>熊本県山鹿市社会教育委員の会委員長<br>古庄 敏和                                      |  |

## 12 講演 (10:20~11:50)

- テーマ 「先人たちの知恵に向き合う～琉球の歴史から～」
- 講演者 高良 倉吉 (琉球大学名誉教授・元沖縄県副知事)

## 13 参加費

- (1) 大会参加者・・・参加費：3,000円 (資料代を含む)
- (2) ネット視聴者・・・資料代：2,000円 ※沖縄県以外の他県の方はネット視聴を推奨します。

## 14 参加申込

- (1) 大会参加申込の方法については、以下のとおりです。

### 【沖縄県以外の方】

- ① 市町村教育委員会は、参加者を取りまとめ、別添の「大会参加申込書」を各県社会教育委員連絡協議会へ提出してください。また、参加費3,000円、資料代2,000円 (1名につき)は、各県社会教育委員連絡協議会が指定する方法で納入してください。
- ② 各県社会教育委員連絡協議会は、県内の参加者を取りまとめ、令和2年10月1日(木)までに、「大会参加申込書」を電子メールにて、下記の<大会事務局>へ送付してください。  
その後、受付事務局から各県社会教育委員連絡協議会へ「請求書」が送付されますので、参加費を令和2年10月29日(木)までに、参加者分を一括して、下記の<参加費・資料代振込先>の口座へ振り込んでください。

### 【沖縄県の方】

- ① 市町村教育委員会及び各所属団体等は、参加者を取りまとめ、令和2年10月1日(木)までに、「大会参加申込書」をFAXまたは電子メールにて下記の<大会事務局>へ直接送付してください。  
その後、受付事務局から各市町村教育委員会及び各所属団体へ「請求書」が送付されますので、参加費、資料代を令和2年10月29日(木)までに、参加者分を一括して、下記の<参加費・資料代振込先>の口座へ振り込んでください。
- ② 個人で申し込む場合は、令和2年10月9日(金)までに、「大会参加申込書」をFAXまたは電子メールにて、下記の<大会事務局>へ直接提出してください。その後、受付事務局から「請求書」が送付されますので、参加費、資料代を令和2年10月29日(木)までに、下記の<参加費・資料代振込先>の口座へ振り込んでください。

#### <大会事務局>

第50回九州ブロック社会教育研究大会沖縄大会実行委員会  
(沖縄県教育庁生涯学習振興課内)

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

TEL: 098-866-2746 FAX: 098-863-9547

E-mail: azamas@pref.okinawa.lg.jp

#### <参加費・資料代振込先>

琉球銀行 県庁出張所(店番号: 251) 普通預金 口座番号: 193008

口座名義: 九州ブロック社会教育研究大会沖縄大会実行委員長会委員長 森田 孟則(もりた たけのり)

- (2) 「領収証」及び「大会参加証」は、大会事務局から各県社会教育委員連絡協議会あてに、一括して送付します。
- (3) 一度納入された参加費、資料代は返還できません。なお当日欠席された方には後日資料を送付します。
- (4) 大会参加者は、大会当日、受付において「参加証」と引き換えに大会資料を配布します。
- (5) ネット視聴者は、資料代振込確認後、大会冊子を発送します。冊子に期間限定「まなびネットおきなわ」視聴用ID、PWを御案内しますので、御活用ください。
- (6) 交通及び宿泊等の手配は、各県・各自でお願いします。
- (7) 「参加申込書」は、沖縄県生涯学習情報提供システム「まなびネットおきなわ」URLからダウンロードできます。

- ホームページURL <https://www.l11-okinawa.info>



## 15 留意事項

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大が終息する見通しが持てませんので、沖縄県以外の他県の方はネット視聴を推奨します。
- (2) 全体会は、会場の新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインにもとづいた運営をおこないます。
- (3) 全体会への参加者は、2週間前から検温、体調管理をお願いします。大会当日は「健康状態申告書」を受付に提出してください(「健康状態申告書」は請求書と一緒に送付します)。